



工事の状況(平成24年11月の予定)

11月工事予定

	11月																														12月				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
仮設工事																																			
土工事																																			
基礎躯体工事																																			
コンクリート工事																																			

仮設工事

土工事

基礎躯体工事

コンクリート工事

4次掘削工事（1FL-1 4.5m～1 7m）

床付け・整正・止め型枠

マットスラブ配筋・止め型枠

捨てコンクリート打設

騒音・振動発生作業

仮設昇降設備整備

仮設昇降設備整備

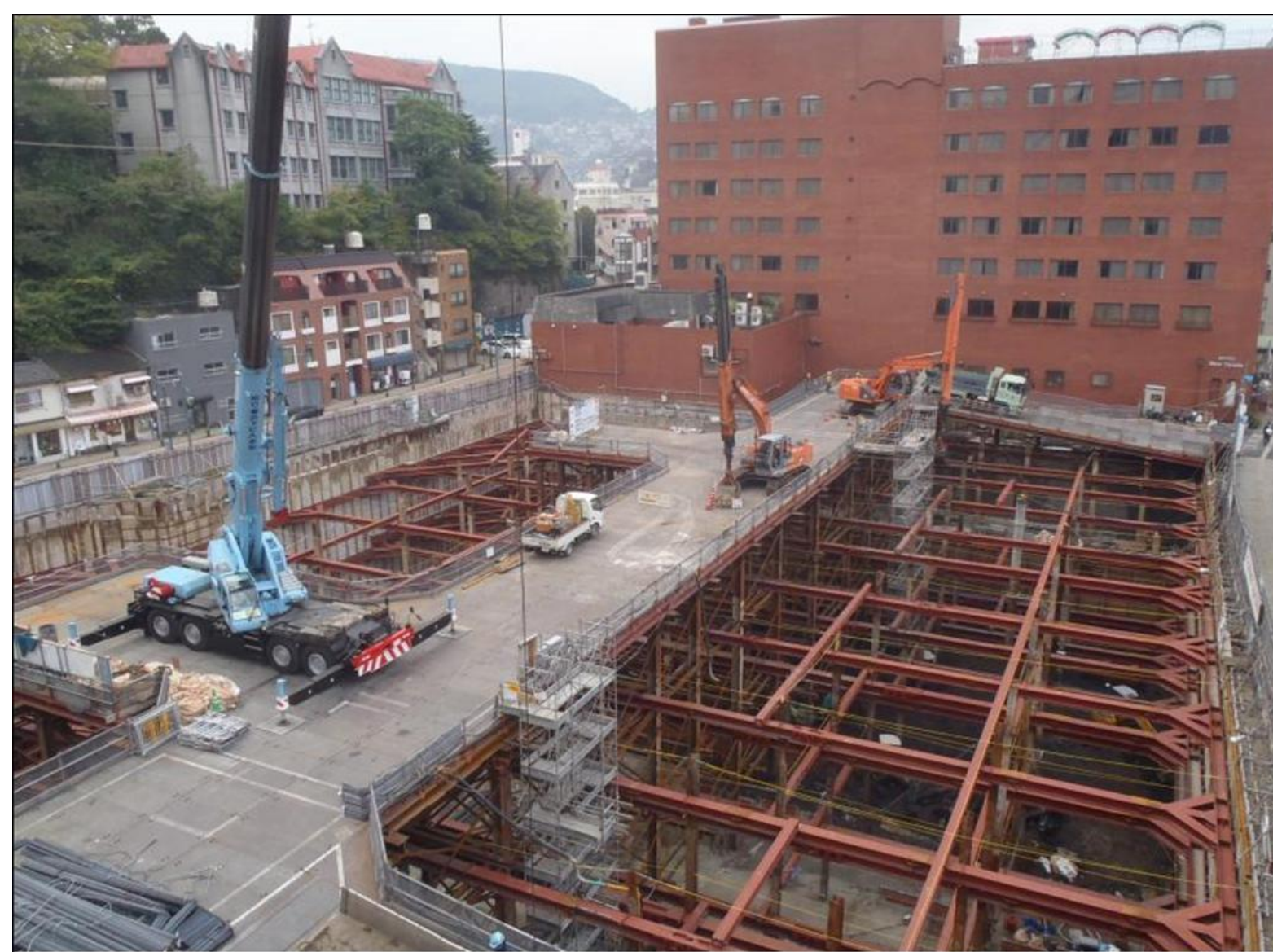
仮設昇降設備整備

大きな騒音・振動作業が終了します。

連日、生コン車の往来が激しくなります。ご協力をお願いします。

※ 11月中旬には、土工事（岩掘削）が終了します。もう少しで大きな終日騒音・振動作業も終了します。
 中旬過ぎからは、基礎躯体工事（生コンクリート打設）による工事車輛の往来が激しい日が続きます。
 工事車輛搬入の出入誘導時には、歩行者の安全確保に努めさせていただきます。今後共、ご協力お願い致します。

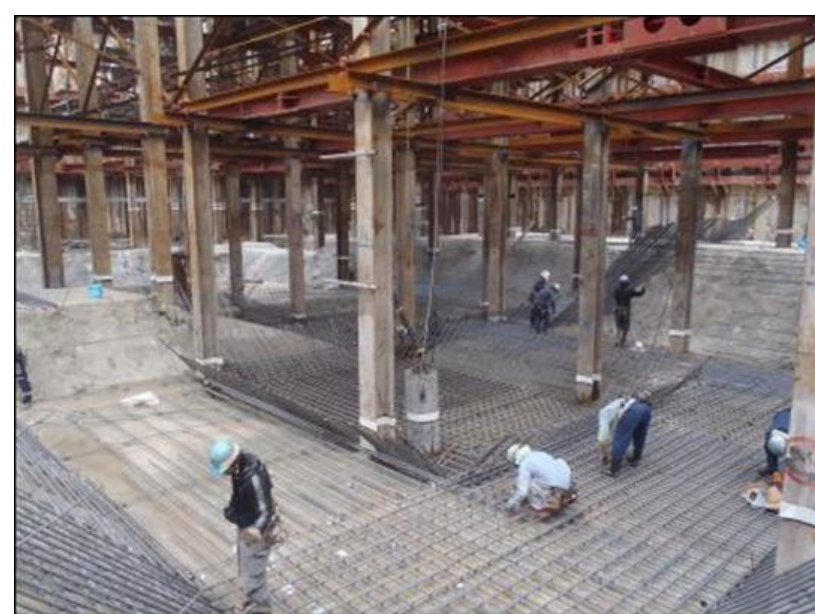
10月の工事写真・ダイジェスト



既存南病棟屋上から見た10月末日 工事現場状況



土工事（建物支持地盤確認）施工状況



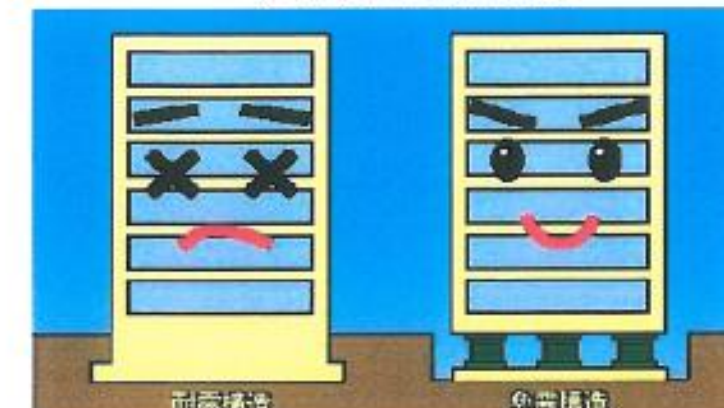
基礎躯体工事（マットスラブ配筋）施工状況



今月は、「免震構造」について説明します。
 新病院棟は、免震構造になります。

免震構造のしくみ

従来の建築物は、地面の上に建物が乗っている為、地震の揺れが地面から直接伝わり建物が大きく揺れます。



従来の建築物
(耐震構造)

免震建築物
(免震構造)

免震構造は、地震時に免震装置が地震の揺れを吸収することで、建物に地震の揺れが伝わりにくくなります。

今回の免震構造は以下の3種類の免震装置の組み合わせです。

積層ゴム 71箇所
 すべり支承 16箇所
 オイルダンパー 16箇所 計103箇所



積層ゴム（アイソレーター）について



積層ゴム（アイソレーター）は、柔らかいゴムと硬い鋼板が交互に重なっています。
 「ゴムの柔らかさ」によって地震時に水平方向にゆっくり揺れ、「鋼板の硬さ」によって、重い建物を安定に支えます。
 しかし、積層ゴムのゆっくりした揺れは、元に戻るのに時間がかかるので、ダンパーを併用します。

すべり支承について



柱の直下に設置されたすべり材が、特別に表面処理した、鋼板（すべり相手材）の上をすべることで、地震の揺れが出来るだけ建物に伝わらないようにします。

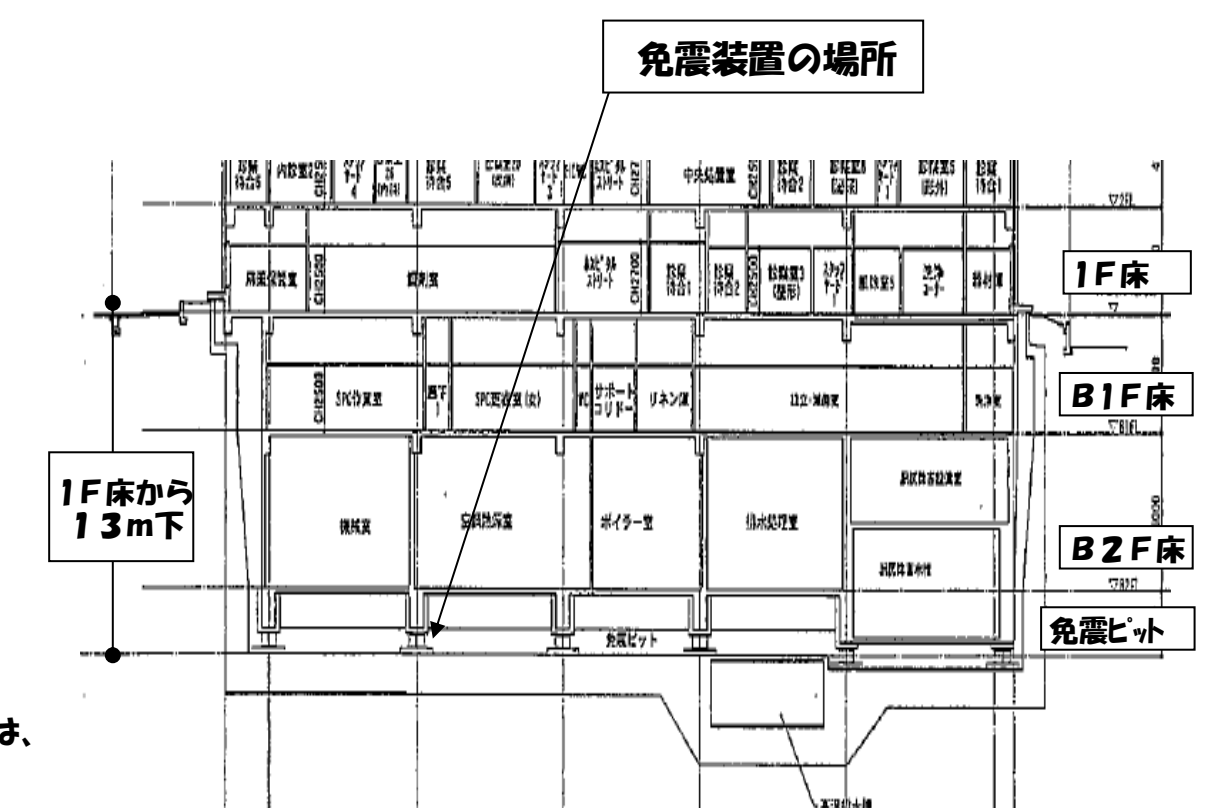
ダンパーについて



オイルダンパー

ダンパーは、建物を支える役目はせずに、積層ゴムだけでは、いつまでも続く揺れを止めることは出来ないで、ダンパーが揺れを抑える働きをします。この建物では、オイルダンパーを採用します。

建物断面図



大成・西海・三基・松栄 特定建設工事共同企業体
 お問い合わせ TEL 095-895-7001